

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立千代田西部小学校
1 前年度 評価結果の概要	コロナ禍の中ではあったが、学校行事等を含め、「工夫してできるように」を主眼にした教育課程の実施ができた。児童の一層の学力向上を図る必要がある。また学年により学力の二極化が見られることも課題となっている。支援が必要な児童に対して、就学相談、教育相談の一層の充実を図ることが重要である。

2 学校教育目標	「豊かな心をもち 個性に富み 逞しく生きる」児童の育成 ～自分を愛し、友だちを愛し、学校・地域を愛する西部小の子～
----------	--

3 本年度の重点目標	①落ち着いた学級づくりを目指し、学習内容の確実な定着と学習意欲の向上を図る。 ②自己肯定感を高め、「自分」「他者」「学校・地域」を愛する児童の育成を図る。 ③業務の効率化を図りつつ教員の質の向上を目指す。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○陰山メソッドによる徹底反復学習による基礎的基本的学習の定着 ○「わかる」「できる」を実感できる授業づくりの推進	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○百ます計算で学年目標達成率80%以上 ○アンケートにて「授業で学習したことがわかる」と回答した児童80%以上	・教職員間でマイプランを共有する。 ・授業チェックシート等を活用し自己評価を行い授業改善を図る ・週3回の陰山メソッドによるスキルタイムの実施。 ・月に1回以上のスキルタイム一斉計測の実施 ・全員研究授業による実践の共有化 ・児童の話し合い活動の推進により学習内容の定着を図っていく。			
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自らの夢や目標に向けて努力しようとする意識を高める教育活動の推進	○道徳や人権に関するアンケートにて肯定的な回答をした児童80%以上 ○アンケートにていじめ防止・対応について、組織的な対応ができていると回答した教員90%以上 ○アンケートにて「自分の目標をもって学校生活をおくることができている」と回答した児童80%以上	・道徳の公開授業の実施 ・平和集会及び人権集会の実施 ・児童会活動を主体とした活動の推進 ・毎月の生活アンケートの実施 ・生活アンケートと連動した担任や管理職及びSC等と連携した児童との関わりの推進 ・学習や学校行事等において、個々の目標をもたせ、振り返りをもとに次への活動への意欲をもたせる。 ・キャリアパスポートの活用							<心の教育部> ・人権・同和担当 ・道徳教育担当 <心の教育部> ・教育相談担当 <心の教育部>
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●児童の交通事故を0(ゼロ)をめざす。 ○けが等による保健室来室者5%減 ○自転車のヘルメット着用率100% ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・月に一度ヘルメットの着用や防犯ブザーの所持状況を調査し、通信等で保護者への啓発を図る。 ・感染症予防対策(マスク着用、手洗い等)の確実な実施 ・保健だよりの発行 ・「給食残菜ゼロ週間」の設定 ・児童委員会を主体とした取組の推進							<生活改善部> ・安全指導担当 ・養護教諭 <生活改善部> ・給食担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○職員全体の時間外勤務平均45時間以下	・PCIによる連絡掲示板の活用による伝達事項の効率化 ・毎月の業務記録のフィードバックによる個々人の業務改善の推進							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の視点に立つ学級づくり	○個々が大切にされる学級風土の醸成	○毎月の教育相談・生徒指導会議の実施 ○保護者アンケートにて「個々に寄り添う学級づくり」への肯定的回答80%以上	・教育相談・生徒指導会議にて配慮を要する児童について共通理解や組織対応を充実する。			
○教職員の資質向上	○指導力・実践力の向上	○教職員の資質能力の向上に資する職員研修の実施	・サービス・学習指導、特別支援教育に関する研修の実施							教頭、各担当
○保護者・地域との連携	○開かれた学校の推進	○保護者アンケートにて学校や学級の情報発信について肯定的回答80%以上	・週一回以上のHP等の情報発信							・教頭、教務、各担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------